

# 新型コロナウイルス感染症に係る 支援制度のお知らせ

## 子育て世帯への

### 臨時特別給付金（支援給付金）

令和3年9月以降の離婚などにより、実際に児童を養育しているにもかかわらず子育て世帯への臨時特別給付金を受け取っていない方を対象に支援給付金を支給します。

**対象者** 次のいずれかに該当する方などのうち、子育て世帯への臨時特別給付金を受け取っていない方

- 令和3年9月以降に離婚した方
- 離婚協議中で配偶者と別居している方
- 配偶者からの暴力を理由に避難しており、所要の手続きを行わなかった方
- 令和3年9月以降に海外から帰国した方

\*他にも要件があります。

**支給額** 18歳以下の児童一人につき10万円  
\*すでに給付金を受け取っている元配偶者などから給付相当額を受け取っている場合などは、その額を控除して支給します。

**申請期限** 令和4年4月28日(木)

**問合せ** 子育て支援課 内線338

市HP



対象者の詳細や申請方法など、詳しくは右記QRをご覧ください。

## 日本政策金融公庫を利用した方に対する 利子補給

新型コロナウイルス感染症の影響により、日本政策金融公庫から融資を受けた事業者のうち、**国の利子補給対象外となった方**に対し、利子を補給します。

**申請方法** 3月31日(木)までに、申請書（市のホームページからダウンロードできます）、通帳の写し（表紙裏、返済箇所全て）、お支払額明細書（日本政策金融公庫発行）を直接、商工振興課 内線487へ



詳しくはこちら

## 臨時休校に対応した個人事業主への支援金 対象期間を拡充

新型コロナウイルス感染症拡大による小学校などの臨時休校に伴い、お子さんの世話を行うために仕事ができなくなった**個人事業主**に対する支援金の対象期間を拡充します。

### 対象期間

**拡充後** 令和3年8月1日(日)～令和4年3月31日(木)

**拡充前** 令和3年9月1日(水)～9月30日(木)

**申請期限** 3月31日(木)（必着）

**問合せ** 商工振興課 内線429



詳しくはこちら

## 市・県民税の申告期限を4月15日まで延長します

### 延長期間

3月16日(水)～4月15日(金)

### 延長期間中の受付場所

## 市民税課

\*平日のみ。状況によって、再来庁をお願いする場合があります。

### 市・県民税申告書の

郵送での提出にご協力ください。

市のホームページ「市民税・県民税仮計算・申告書作成システム」で市・県民税の申告書が作成できます。\*システムの利用方法などの詳細は、市のホームページをご覧ください。

**問合せ** 市民税課 内線235

特集

—子ども通信員レポート— 日立市から世界へ！二大企業のルーツがここに

日鉱記念館 & 日立オリジンパーク



日立鉱山をルーツとする JX 金属と、日立鉱山の修理工場として創業した日立製作所。この両企業の発展により、現在の日立市があります。今回の子ども通信員レポートでは、日立市の歴史を語る上で欠くことのできない二大企業の歴史や理念を学ぶことができる「日鉱記念館」と「日立オリジンパーク」取材しました。

企業の歩み

いまやグローバルな活躍を見せる JX 金属と日立製作所。その歩みは、1 世紀以上も前、この日立市から始まりました。まずは、各企業のこれまでの歴史の一部をご紹介します。



JX 金属

久原房之助氏が久原鉱業所日立鉱山を開業  
日立鉱山付属診療所（現在の日鉱記念病院）を開設  
大雄院製錬所（現在の JX 金属日立事業所）の操業を開始

大煙突を建設  
鉱山周辺にオオシマザクラなどの苗木の植林を開始  
共楽館（現在の日立武道館）を建設

日本産業株式会社に改称し、金属部門として日本鉱業株式会社を設立  
鉱量枯渇などにより日立鉱山を閉山  
日鉱記念館をオープン  
日本鉱業の事業を継承し、日鉱金属株式会社を設立  
現在の JX 金属株式会社に社名変更  
日立市内に 2 つの工場を新設することを発表

- 1905 年
- 1906 年
- 1908 年
- 1910 年
- 1914 年
- 1915 年
- 1917 年
- 1918 年
- 1920 年
- 1922 年
- 1929 年
- 1938 年
- 1939 年
- 1957 年
- 1969 年
- 1981 年
- 1986 年
- 1992 年
- 2016 年
- 2021 年

日立製作所

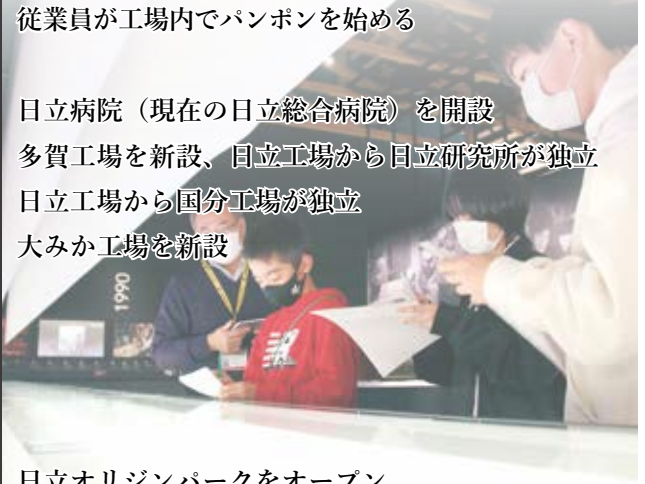


小平浪平氏が久原鉱業所の修理工場として日立製作所を創業  
徒弟養成所（現在の日立工業専修学校）を創設

日立における事業所を日立工場と称する  
久原鉱業株式会社から独立、株式会社日立製作所となる  
従業員が工場内でパンポンを始める

日立病院（現在の日立総合病院）を開設  
多賀工場を新設、日立工場から日立研究所が独立  
日立工場から国分工場が独立  
大みか工場を新設

日立オリジンパークをオープン



次ページから、日鉱記念館と日立オリジンパークをご紹介します

# 日 鉱 記 念 館

## 施設概要

開館時間 午前9時～午後4時  
 (最終入館は午後3時30分)  
 休館日 月曜日・祝日、年末年始 他  
 所在地 宮田町 3585  
 電話番号 ☎ 21-8411  
 \*団体での来館は事前にご連絡ください。



詳しくはこちら↑

日立市発展の原点でもある「日立鉱山」をルーツとしたJX金属の歴史的資料を展示しています。

日立鉱山の跡地に建てられた記念館の敷地内には、日立鉱山の歴史や大煙突などを紹介する「本館」のほか、鉱山で使用した機材、鉱石などを展示した「鉱山資料館」、令和3年1月に改修された「旧久原本部」「塵外堂」などがあります。

## 本館

創業者の久原房之助氏が日立鉱山を開業してから100年の歴史や、日立市のシンボルである大煙突などをパネルや史料で紹介しているほか、坑内の様子を再現した模擬坑道があります。



↑久原房之助翁像。鉱山を開業後、わずか数年で日本有数の銅山に成長させた。

30代の若さで日本有数の鉱山に発展させるなんて…驚きです！



→1960年まで運行していた鉱山電車。当時の様子を映像で見ることができる。



鉱山電車の運賃は無料！他にも福利厚生を充実させ、従業員の生活を大切にしていました。

雰囲気のある模擬坑道。実際の坑道は総延長700kmで、日立市から大阪までと同じ距離になります！



↓坑内の様子を再現した模擬坑道。



←さまざまな大煙突の写真や、地域とともに煙害問題克服と自然回復に取り組んだ経緯を紹介。



# 取材を終えて

—子ども通信員の感想—



大久保中学校 1年  
おおとも しんどう  
大友 心道さん

取材して感じたことは、人のために働くことの大切さです。もともと日立鉱山の煙突は、小さく、あまり高くはありませんでした。しかし、久原房之助さんが、煙害から市民を守るために煙突を高くしたということに、とても感動しました。人のために働いたことで、たくさんの笑顔が生まれる。私も房之助さんのように、人に笑顔を与えられるように、これからの人生を歩んでいきたいです。



河原中学校 2年  
むなかた みそら  
宗方 美空さん

福利厚生が行き届いて、無賃電車の運行、学校や病院、娯楽施設（共楽館）の設置、当時価格が大きく変動していた米を安く一定の価格で販売するなど、戦時中だったのにも関わらず従業員の生活を大切にしていたことに衝撃を受けました。そのため従業員が増え、人口も増え、日立市が発展したと分かりました。もっとたくさんの人に日鉱記念館を訪れてもらいたいです。



台原中学校 2年  
おかの かなえ  
岡野 叶恵さん

改めて自分の住んでいる町である日立市がどのようにして今日に至り、発展してきたのかが知れるいい機会になりました。また、久原房之助さんが、日立製作所の創業者となる小平浪平さんなどの優秀な若い人材を積極的に取り入れ、大規模な経営をしたことで、日立鉱山が発展し、今の日立市につながっているのだなと思いました。学んだことを生かして、友達や家族などに日立市の歴史についての話を広めていきたいです。

日鉱記念館には鉱山時代の機械や鉱石、当時の暮らしなどを展示しています。また、煙害による環境問題に対し企業と地域住民が一緒になって乗り越えてきた歴史も展示しています。ぜひ、見学に来てください。



日鉱記念館 副館長  
篠原 順一さん

## 鉱山資料館

大型のコンプレッサー、さく岩機、鉱石標本などを展示しています。第二次世界大戦中の昭和19年に建てられた木造のコンプレッサー室をそのまま使用しています。



↑閉山まで使用した450馬力のコンプレッサー。

## 旧久原本部

日立鉱山開業当時、久原房之助氏が居住し、幹部たちと苦労をともにした場所です。県文化財に指定されています。



## 塵外堂

大雄院製錬所に立っていた巨木「千年杉」を用いて建設された持仏堂（仏像を安置する建物）です。

# 日立オリジンパーク

## 施設概要

**開館時間** 午前9時30分～午後4時  
(最終入館は午後3時)  
**休館日** 水曜日・祝日、年末年始 他  
**所在地** 大みか町 6-19-22  
**電話番号** ☎ 87-7575  
\*団体(20人以上)の来館は  
事前予約が必要です。  
詳しくはこちら↑



日立グループの事業と社会貢献のあゆみを紹介する「小平記念館」や、創業製品の5馬力モーターが誕生した工場を復元した「創業小屋」のほか、「大みかクラブ」「大みかゴルフクラブ」からなる企業ミュージアムです。

日立グループの企業理念や創業の精神を伝える原点として、創業の地である日立市に、令和3年11月にオープンしました。

## 小平記念館

小平浪平氏が日立製作所を創業するまでの道のりを映像で紹介するコーナーや、当時の製品の展示、タッチスクリーン、AR(拡張現実)などを活用した展示を通して、社会貢献と技術開発、挑戦の歴史を体感することができます。



↑小平氏は、「自らの力で電気機械を製作したい」との志を胸に日立製作所を創業し、現在の日立グループの礎を築き上げた。

↓創業までの道のりをサラウンドスクリーンの映像で紹介



↓創業以来、世界中の人々と社会課題の解決に挑戦してきた取組を紹介。創業当時からさまざまな社会貢献が実践され、途切れることなく現在も受け継がれている。



↓館内には当時の製品を展示。写真は左から「5馬力モーター(1910年)」「かくはん式電気洗濯機(1952年)」「14インチ白黒テレビ(1956年)」



レトロな感じが逆に新鮮!  
他にも冷蔵庫やテーブルコーダーなどがあります!

→太陽光や風力などの再生可能エネルギーの利用が進んだ社会・暮らしなどを視覚化したジオラマ。



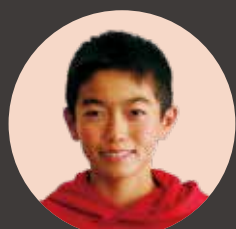
# 取材を終えて

—子ども通信員の感想—



大久保小学校 6年  
たかし みず はる  
高清水 悠さん

日立製作所の歴史や努力を知ることができて、とても興味深い場所でした。日立製作所が、創業小屋からどのようにして世界に進出したのかが分かり、もっと詳しく知りたいと思いました。また、創業小屋は、当時の写真と変わらないくらいに細かく再現されていてとてもすばらしかったです。取材という経験を生かして、中学校生活もがんばろうと思いました。



河原小学校 6年  
さと う けい い ち ろ う  
佐藤 圭一朗さん

取材して印象に残ったことの1つが、創業小屋です。日立の工場がこんな、小さな小屋から始まったのかと、びっくりしました。また、昔の映像から当時の仕事の様子を感じることができました。他にも、大きなモーターがあり、110年経っても動いていると知り、すごいなと思いました。取材していろいろなことを学ぶことができました。また行きたいです。



塙山小学校 6年  
いそ ま え み き  
磯前 未希さん

日立オリジンパークの館内は広々としていて、歴史の流れがとても分かりやすいところでした。日立製作所は、今でも様々なものをつくっていて、環境に優しく安心・安全な製品のおかげで、私たちの暮らしが便利になるのかなと思いました。日立製作所について知ることのできる素敵な施設です。ぜひ、訪れてみてください。



日立オリジンパーク  
中川 公一さん

日立オリジンパークは、37万人の従業員が創業者の想いや理念を体感し、原点に立ち返る場として設けられました。世界中の社会課題の解決に日立グループがどのように関わってきたかをご覧ください。

↓日立グループの社会課題解決への挑戦を振り返り、将来への想いをアンケート形式で回答するHitachi Future Zone。集計された結果はスクリーンに表示される。



自分だけでなく、みんなの考え方も分かるからおもしろい！

→創業製品の5馬力モーターから現在まで、挑戦の歴史を中心に写真でたどる。



## 創業小屋

創業製品の5馬力モーターが誕生した日立鉾山工作課修理工場を復元した施設です。現存する5馬力モーターが動く様子や、創業時を再現した映像などを通じて、創業の息吹を追体験することができます。



世界のHITACHIは、ここから始まったんだ！

